

青森県民医連第56期

医療・介護安全学習会

講師は、岡山協立病院医療安全管理部リスクマネージャー・佐藤恭江先生（臨床検査技師）を迎え「チーム医療に大切なこと～心理的安全性のある職場づくり～」について講演していただきました。心理的安全性のある職場とは、組織やチーム全体に向けた「率直な意見」「素朴な問題」「違和感の指摘」がいつでも、だれもが気兼ねなく言える職場であり、心理的安全性な行動を妨げる4つの不安、NG言葉、ポジティブな伝え方、声掛けについて学びました。また、A4用紙を用いて折ったりちぎったりの作業を行いメンタルモデルの共有の大切さを体験し、チームSTEPPSのツールなど有効なコミュニケーションについて学ぶことができました。



5月13日（土）、浪岡中央公民館にて青森県民医連第56期医療・介護安全学習会を開催し92名が参加しました。今回の学習会

また、心理的安全性についての7項目のテストに回答し、自職場の心理的安全性について確認しました。そして、岡山協立病院で取り組んでいるGood Job報告やデイリーハドル（ポジティブ報告）の紹介などがされました。参加アンケート結果は、98・8%が心理的安全性について理解できた・十分理解できたと回答されました。ポジティブな声掛けやナラティブの共有な



ど98・7%の人が明日からでも現場で実践できると回答されました。今後、安全管理について医療分野の到達点を介護分野にも活かすこと、医療職と介護職が安全に関して共通の言語を持つこと、そして各職種の特性を活かして医療・介護の安全の向上を図ることに繋げていければと思います。（医療安全委員会事務局長 木村祥子）

2023年度

通常総代会

津軽保健生活協同組合

第98回 通常総代会

6月20日(火)、第98回通常総代会が開催されました。半日の日程で出席総代を制限することなく開催しました。

今年度の通常総代会は、日程はコロナ禍前の半分である半日となりましたが、換気や手指消毒など基本的な感染対策を行いながら、出席総代を制限することなく開催することができました。全3議案が提案され、延べ7名の総代より発言が出されました。活発な質疑の元、すべての議案が満場一致で採決され滞りなく終了することができました。

(津軽保健生活協同組合総務部次長 古村律子)



青森保健生活協同組合



2023年度 通常総代会

6月23日(金)に開催した今年度の通常総代会は、「誰もが健康で居心地よくらせるまちづくりへの挑戦～創業70周年を記念しながら、みんなの願いを実現する事業と運動を創造しよう～」をテーマに、総代数を250名に変更後初めての全員参加での総代会となりました。感染対策を考慮し、時間を短縮させながらも、例年の1.5倍の広さの会場で4年ぶりに規模の縮小をさせることなく開催することができました。2022年度の事業報告および2023年度の事業計画などが報告・提案され、活発な質疑討論の後、第1号議案から第6号議案まですべての議案および特別決議が全会一致で採決されました。また、役員の改選期であり、退任理事の紹介と新役員体制の報告、新入職員の紹介などが行われ、滞りなく終了することができました。(青森保健生活協同組合総務部長 坂野友昭)

八戸医療生活協同組合

第35回 通常総代会

6月24日(土)、八戸市福祉公民館で第35回通常総代会が開催されました。

今年度もコロナ禍のため、規模を縮小しての開催となりました。

診療所の医師が交代となり、新しく坂戸慶一郎医師が就任され新体制となった事や、生協居宅介護支援事業所が7月1日(土)より「生協ケアプラン・かいごの相談室」へ事業所名を変更する事、生協デイサービスたむかひの家が、9月1日(金)から「生協デイサービス はんどん」として一日型から半日型へリニューアルオープンする事など、様々な新体制の説明がありました。

当日の実出席は35名、事前の書面議決は109名であり、全10議案すべてが賛成多数で採決され、滞りなく終了いたしました。

(生協診療所通所リハビリテーション所長 向美穂子)



第36回 通常株主総会

5月25日（木）に第36回通常株主総会が本社会議室にて開催されました。

事業活動計画では、今まで以上にしっかりとした事業計画や中長期計画をもち、それをしっかりと実践することや引き続き患者様と職員を新型コロナウイルス感染症から守りつつ民医連事業所として社会的使命を果たしていくことを確認しました。今年度以降の重要な課題としてあらゆる分野に於けるICT化に対応していく取り組みについても確認しました。全議案とも満場一致で採択され、滞りなく株式会社ファルマ第36回通常株主総会は閉会しました。

（株式会社ファルマ 代表取締役 石川隆之）



あおもり健康企画設立30周年を迎え、地域のために更なる発展を

2023年度 一般社団法人あおもり健康企画社員総会

5月15日（月）本社会議室にて、第8期定時社員総会が開催されました。

2022年度はコロナ禍や診療体制上の理由から処方箋枚数が大幅に減少、また薬価引下げの影響もあり減収減益となり赤字決算で終わることになりました。

2023年度は前身の株式会社から通

算し、法人設立30周年を迎えます。引き続き厳しい経営状況が続くことが予想されますが、全役職員で奮闘し地域のために更に発展していくことを確認し、提案された議案は全て満場一致で承認され総会を終えました。

（一般社団法人あおもり健康企画

常務理事 成田卓弥）

2023年度 第1回 評議員会

6月24日（土）、

「花の郷」多目的室で、令和5年度第1回評議員会を開催しました。

令和4年度収支決算、令和5年度当初予算及び第十四期理事・監事の選任等の承認を頂きました。各評議員より、「コロナ禍の中で大変苦労されたが、令和4年度を黒字で終了できたことは、喜ばしいことであり今後も、地域の皆さんや利用者さんの為に邁進してください」と激励の言葉を頂きました。



最後は、第十四期成田理事長からの「厳しい情勢ではあるが、全職員一体となって法人を盛り上げ更なる躍進ができるよう努力して行きたい」との決意表明で閉会となりました。

（社会福祉法人・花

統括長 鈴木哲也）

2023年度 社会福祉法人虹職員総会

5月20日（土）、はまなす会館にて2023年度社会福祉法人虹職員総会が開かれ、理事、監事、職員を合わせ31名が参加しました。



感染症対策のため、人数制限を設けた上で、土曜の午後の限られた時間での開催となりましたが、久々の集合研修となり、各事業所の取り組みなどを共有する貴重な機会となりました。

総会の前半では本部からの2022年度活動報告と全国に研修に出た2つの特別報告、新正職員の紹介を行いました。コロナの影響を受けた部分が多かったですが、各報告に民

医連綱領と結び付けた内容が目立ち、改めて私たちの実践に大切な事を確認しあえたと感じました。

後半では、2023年度予算・重点方針の説明が法人と各事業所の所長からありました。経営改善が大きなテーマで厳しさがある2023年度ですが、各事業所からは前向きな姿勢での決意がしっかりと語られました。（社会福祉法人虹

事務局次長 山崎英二）

北海道～青森県引継ぎ集会

平和に対し、より強い意思を持って集会に参加

6月4日（日）、青森市平和公園にて原水爆禁止国民平和大行進の引き継ぎ集会が行われ、総勢195名が参加しました。

集会では、北海道から引き継いだ横断幕を受け取り、原水爆禁止を日本全国から長崎・広島へと繋ぐため、責任感を持って県庁まで平和行進に参加することが出来ました。

今までも何度か参加していますが、今回初めて職員として参加することで、平和に対し、より強い意志を持って集会に参加できた気がします。なぜなら、入職してから平和について学ぶ機会が多く、戦争の恐ろしさを学んだからです。

私は、1人でも多くの方の命を助けたいと思い看護師になりました。しかし、1回の原爆によって何十万人もの命が跡形もなく一瞬にして消えてしまうことを、戦争を体験したことのある方から学び、恐怖と、また同じことを繰り返してはいけないという強い気持ちがこみ上げてきました。そのため、これからも戦争反対・原水爆禁止運動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

（生協さくら病院 宮本花菜）



原水爆禁止国民平和大行進

青森市平和公園で北海道・太平洋のコースに別れ、核兵器禁止条約に参加するために県内でも取り組み、行進しました。参加者から各々いただきました。

平和を守るために。なくそう核兵器！

6月7日（水）時折雨が降る中、北海道から引継いだ行進旗をたずさえ、8月に開催される原水爆禁止世界大会のアピールと核廃絶を訴えながら、浅虫～野辺地の太平洋側を行進しました。

行進途中、平内町・六ヶ所村・横浜町・野辺地町の役場へ立ち寄り、首長と懇談できた自治体もありました。六ヶ所村村長は「広島・長崎のようなことはあってはならない」とおっしゃり、帰る際にはがんばってくださいとの言葉もいただきました。最後は、翌日の行進者へ旗を引き継ぎ解散しました。日本は被爆



六ヶ所行進中

国であるにもかかわらず、未だに核兵器禁止条約に批准して

いません。そしてそのことを知らない国民がいるのも現状です。1日でも早く日本が条約に批准するためにも、世界から核兵器をなくすためにも、核廃絶の意義を伝え続けなければと思います。

（中央あけぼの薬局 吉田和美）



集合写真(六ヶ所村役場前)

太平洋コース（青森～野辺地）

▼日本海コース
(浪岡～弘前、秋田県引継ぎ集会)

北海道－東京（日本海）コースに参加して

6月7日（水）、6月8日（木）の2日間に渡って、2023年原水爆禁止国民平和大行進が開催されました。津軽保健生活協同組合から医師を始めとした職員40人が参加し、核兵器の廃絶、平和を訴えて行進しました。



行進中の様子



平和大行進への思いを語る山口逸郎氏

快晴の中、8日の青森～秋田・引継ぎ集会が行なわれ、核兵器廃絶、平和を訴えて行進しました。

北海道－東京（日本海）コースの通し行進者である山口逸郎氏（91歳）が先頭になり、年齢を感じさせない元気な掛け声とともに力強く行進。その姿に我々も元気を分けてもらったと同時に、沿道

からは「頑張ってください」等応援の声も寄せられていました。

弘前市役所前から出発、途中バス移動を挟みながら大鰐町を行進し、最終的には秋田県大館市の「道の駅やたて峠」にて秋田県に横断幕等を引継ぎ。自分達が掲げた横断幕等を、平和を願う心と共に、県を超えて全国に繋いでいくという意義深い運動であったことを実感することができました。

現在岸田政権はロシアのウクライナ侵攻に乗じて、我が国の軍拡及び武器産業の拡大を推し進めていますが、こうした運動を強く広め、平和を訴えていかなければならないと感じました。

(津軽保健生活協同組合 泉谷和紀)

2023 原水
国民平和

66回目となる今年は、から引継いだ後、日本海「歩く」ことを基本に、「日本」を実現させるため秋田県・岩手県に引継ぎ地の取り組みを報告して

～戦争・核兵器の恐ろしさを若者へ伝える為に～

6月8日（木）、八戸市旧チーノ前から市民広場まで、2023年度原水爆禁止国民平和大行進を開催し、約80人が参加した。

今回八戸では4年ぶりの開催となった原水爆禁止国民平和大行進。私自身初めての参加ということもあり、核兵器の恐ろしさ、被爆者の訴えを、改めて肌で感じる事となった。今年で第66回目の開催となった原水爆禁止国民平和大行進、そして戦後から78年目となった今日。私と同年代、それ以降の若者は、戦争の経験がないだけではなく、戦争に関する興味、関心自体が薄れている傾向にある。この事実が幸せと考えればその通りではあるが、戦争で核兵器における被害を多く受けた国としては、悲しい事実である。戦争を経験した世代の方々は、徐々に減少し、戦争、核兵器の恐ろしさを伝える担い手も少ない事が、現代日本の問題の一つでもある。先日行われたG7



広島サミットでも、「広島ビジョン」を岸田現総理大臣が掲げたが、実現に向けてはまだまだ先の話となってしまっだろう。世界を見ても、核兵器不拡散条約は2021年発行されたが、包括的核実験禁止条約に至っては批准が完了していない為、未発行である。このように日本だけではなく、世界各国の核兵器に関する条約も、核の恐ろしさ、核

被害者がいる中で、進んでいないのが現状である。これらの問題は国民一人の声で、すぐに解決できるものではない。しかし、国民一人一人が戦争や核兵器に対する考えを持つことや、学び、後世に受け継いでいこうとする意志は必要なのではないかを感じる平和大行進であった。現在も戦争は世界各地で起きている。多くの人が、家族や故郷を失い悲しみと絶望に溢れている。核兵器開発も完全に撲滅する事が現状難しい問題である。こういった世界情勢の中で、今後も原水爆禁止国民平和大行進を通して、「核兵器、戦争のない世界」実現を訴え続けていきたいと心より思う。

(デイサービスセンター生協たむかひの家 石鉢慎)

▼太平洋コース
(七戸～八戸市民広場引継ぎ集会)

医療者として「核兵器と平和」について考える

5月27日(土)～28日(日)の二日間かけて、反核医師の会学生部会による長崎フィールドワークが行なわれました。医師・医学生を中心に全国から40名を超える参加でした。青森民医連から医学生2名が参加しました。

1日目は長崎原爆遺構や原爆資料館を巡りました。フィールドワークには、現地でガイド活動をしている長崎民医連職員が同行しました。学生の「なぜガイドをしようと思ったのか?」という質問に対して、「患者さんの多くは被爆者であり、原爆症認定のために辛い被爆体験を何度も聞いてきた。聞いたものの責任として、広く伝えなければいけないと思った」と答えられたことが印象的でした。

2日目は、長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授による講演と、核廃絶を訴えて国内外で活動をしている高校生平和大使との交流が行なわれました。中村准教授の講演では、「核兵器禁止条約の存在意義は、条約が『核兵器の非人道性』に焦点を当てる新しいアプローチによって生まれたことにある。この条約が存在することで核兵器に『悪の烙印』が押され、『核抑止論』が主流だった世界の価値観が変わる。大軍拡が進められている今、私たちは一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされる社会に向かうことができるかどうかという分岐点に立っている」と語られました。その後、高校生平和大使を交えて班討論が行なわれ、核兵器廃絶について意見交換がされました。

参加学生からは、「一瞬で日常が崩壊し、命が奪われることの恐ろしさを感じた」「平和大使の高校生が自主的な活動を行っていることに驚いた。大学生の自分たちも何かしなければと思った」「核兵器禁止条約にもっと多くの国が批准してほしいと思った」など感想が出されました。現地で実際に見て、交流して、大いに学んだ2日間でした。

(青森民医連弘前事務所 相馬小百合)



原爆遺構巡りの様子

はじめに、看護師確保に関する学習や各県連の現状や取り組み等を話し合いました。その中で私が感じたことは、いかに自分たちが行っている医療に自信と確信を持ち、人に伝えていくかということです。誰でも平等に医療を受ける権利があり、その権利を日常の活動で保証しているということとを自分の言葉で看護学生や新人職員に伝えていくことが、後の民医連医療を担う人材の育成に繋がるということとを学びました。1日目の夜は、夕食交流会で残念ながら黙食でお弁当とお茶で出た物という中で紹介動画や出し物が披露され素晴らしい交流会でした。約3年ぶりの集合研修でとても元気をもらいました。また、2日目の午後はナースアクションと題して、昨年8月に出された看



議員訪問の様子左から高橋千鶴子議員、津軽保健寺島看護介護部長、協立病院内山看護長、さくら病院中村看護長

はじめに、看護師確保に関する学習や各県連の現状や取り組み等を話し合いました。その中で私が感じたことは、いかに自分たちが行っている医療に自信と確信を持ち、人に伝えていくかということです。誰でも平等に医療を受ける権利があり、その権利を日常の活動で保証しているということとを自分の言葉で看護学生や新人職員に伝えていくことが、後の民医連医療を担う人材の育成に繋がるということとを学びました。1日目の夜は、夕食交流会で残念ながら黙食でお弁当とお茶で出た物という中で紹介動画や出し物が披露され素晴らしい交流会でした。約3年ぶりの集合研修でとても元気をもらいました。また、2日目の午後はナースアクションと題して、昨年8月に出された看

看護職員処遇改善評価料についての不平等さを訴えに署名を持って国会議員要請行動に参加しました。青森県は、日本共産党の高橋千鶴子議員、立憲民主党の田名部匡代議員に紹介議員になっていただきました。その後、参議院会館内で民医連職員100名にて白衣の集会を開催し、全ての看護職員の処遇改善について訴えました。この様子は「きらり看護」というホームページに掲載されていますのでぜひご覧ください。(看護学生小委員会 中村共輝)

5月29日(月)から30日(火)にかけて、TOC有明ウエスタワーにて開催され、全国から230名参加し、各地の看護師確保の状況について確認し各県連での取り組みについて情報交換しました。また、30日(火)には、ナースアクションと題して国会議員要請行動を行いました。

5/29-30 民医連医療を未来につなぐために
第2回全日本看護師受け入れ担当者
研修交流集会
ナースアクション白衣の国会集会

2023年度全日本民医連新卒薬剤師初年度研修会

5月24日(水)、WEBにて開催された薬剤師初年度研修会に参加しました。全国から同期とチューター役の先輩薬剤師の方々が参加し、スモールグループディスカッションを通じて交流を深めました。自分自身を「トリセツ」を使って自己紹介したり、今悩んでいることを互いに共有し、同期の存在を強く意識することが出来ました。

全日本民医連副会長の根岸京田先生から、薬剤師に期待することと民医連についてお話をいただきました。講演の中で、社会的地位の差により死亡率に4倍もの開きがあるとの研究が紹介されており、実際に数値で示されていることに驚きました。健生病院で実施されている無

料低額診療のように、社会的格差が直接健康格差につながらないような取り組みの必要性を改めて認識することができました。

また、先輩薬剤師からは「苦手なことから逃げない」ことが大切であるとお話があり、無意識に苦手意識をもってしまい避けている部分があるかもしれないと気づきました。今後、苦手なことやわからないことにしっかり向き合い、できることを増やしていきたいと思えます。

全体を通して、民医連の中での横のつながりを意識し、様々な意見を交換することができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

(ファルマ弘前薬局 外崎佳奈)

青森県民医連 第56期臨時総会

6月23日(金)、WEBでおこなわれた第56期臨時総会は、青森県民主医療機関連合会規約に則り開催されました。

総会の冒頭、田代実会長より、「医師分野(確保と養成)と経営分野の課題を中心に据えて、今までの到達に確信を持ちながら現状の認識を一致させ全職員の力でさらに前進を図りたい。」とあいさつがありました。続いて、泉谷資格審査委員長から、必要代議員数の出席があり、総会が成立していることが報告され、県連理事會を代表して佐藤事務局長より以下の提起がありました。「現在の県連四役体制では情勢課題や県連課題においても十分議論を深められず県連機能を発揮できなかった。抜本的に見直し強化を図るため、第12回県連理事會で確認し、臨時総会を開催することに至った。」と説明がありました。そして、「新たに事務局長を選任し、3人の事務局次長体制で民医連運動の前進へ転じる年にし、結成70周年を迎える来期57期に繋げていきたい。」と決意が述べられました。

その後、出席代議員による選挙がおこなわれ、圧倒的多数により新事務局長、事務局次長が信任されました。新たに選出された宮本新事務局長は「医療、介護福祉に取り巻く環境はますます厳しさを増すことが予想され、戦争する国づくりに拍車がかかっている情勢です。それだけに青森民医連が果たす役割、期待されることも大きくなっています。会長はじめ理事會が先頭にたち役職員のみならず県内10万人を超える共同組織のみなさん、地域住民のみなさんと一緒になって民医連の事業と運動の発展に尽力します。」とあいさつをしました。



県連事務局人事往来

6月23日の臨時総会において事務局長に選任された宮本達也です。全国の民医連の事業所では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などにより、深刻な経営困難に陥っています。青森民医連の各事業所も対岸の火事ではありません。そのような情勢の中、重責を担うこととなりますが、各事業所で奮闘している全役職員と、10万人を超える共同組織の皆さん、多くの団体とともに、青森民医連の発展に向け努めていきます。宜しくお願いいたします。

着任 みやもと たつ や
宮本 達也
(青森保健生活協同組合
⇒青森民医連青森事務所)



着任 さ さ き けい た 帰任先 帰任日
佐々木啓太 八戸医療生活協同組合 6月19日

この度、医学生担当となりました。

医学生と交流を深め将来民医連の医療を担う医師として活躍できるように自分にできる事を頑張りたいと思います。大変責任とプレッシャーを感じており不慣れな事だらけでご迷惑をかける事もありますが何卒宜しくお願い致します。

着任 おくざき だい
奥崎 大

(協立訪問看護ステーションさくら支所
⇒青森民医連弘前事務所)



全日本民医連

創立70周年記念事業



公演決定

「人間の本当の価値は何をしたかでない。
何をしようとしているかだ」



「いつの世でも弱者が犠牲にされる。かれらにそんな権利があるのか。力さえあればどんな違法な事でも残酷な事でも押し通すことができるのか!」

時代・状況こそ違え、「新型コロナウイルス感染症」の治療に全力を挙げて闘っている医療・介護従事者の方々と重なる感動の物語。無差別平等の医療の実現を綱領に掲げる民医連の源流を感じる物語をぜひ劇場で。

2023年10月19日(木)
リンクモア平安閣市民ホール

昼夜2回公演 昼:14:00~ 夜:18:15~

鑑賞券 昼夜共に
4,500円

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気
MIN-IREN

2023 8月号 380円 好評発売中

民医連70年 被爆地で平和の担い手に

けんこう教室 高次脳機能障害(下)

南中ソーラン 北海道稚内市

レッツ脳トレ

まわりのチカラ 高知県大月町

食と健康! お手軽! 豆腐料理



発行＝青森保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

うちの メコッコ

vol. 73

♡ name ^{こてつ} 琥鉄
(ポメラニアン)
♡ age 4歳

元気いっぱいな
我が家のめんこちゃん達



♡ name ^{あこ} 彩心
♡ age 1歳

♡ name ^{ゆうせい} 悠晴
♡ age 3歳



我が家には2人と1匹のかわいいめんこちゃんがあります。6月で3歳を迎えた元気いっぱい甘えん坊な悠晴。昨年妹が生まれ、イヤイヤ期と赤ちゃん返りのダブルパンチで、床にひっくり返って大泣きしたり、妹にやきもちを焼いたりしていました。走るの大好き、お外遊び大好き、毎日たくさん走り回っています。

5月で1歳を迎えた彩心。おっとりしていておだやかな性格かな?と思っていた赤ちゃんの頃が懐かしいくらい、おてんばな子に育ちました。最近はお兄ちゃんの後を追いかけて、おもちゃを奪い、食べ物を奪い…とにかくお兄ちゃんのこと大好きです。お兄ちゃんが歌うのに合わせ手をたたいたり、身体を揺らしたり、いつもニコニコで機嫌です。

6月で4歳を迎えたポメラニアン琥鉄。人懐っこくて犬も人も大好き。子供達と遊んでくれているのか…遊ばれているのか…定かではありませんが子供達ととても仲良しです。

喧嘩したり、みんな一斉に泣いたり、とても賑やかな毎日ですが、「今だけ」と思い、楽しみたいと思います。これからのみんなの成長が楽しみです。(あおもり協立病院 中島理奈)

私の三つ星★★★★

オススメ お腹も心も満腹

弘前市境関にあるモアイ食堂。若夫婦が二人で切り盛りしています。

ボリュームな油淋鶏が人気の店で、ランチはいつも混んでいます。

油淋鶏定食の他にも週替わり定食、レバニラ炒め、麻婆豆腐、肉野菜炒め等々あり、メニュー選びに悩んでしまいます。

忙しいながらも若い女将さんのハキハキした気持ちのよい接客、マスターの人柄がにじみ出ている笑顔に心が洗われます。そして出てくる料理はどれも丁寧で絶品。かなり量が多いですが、残った分はお持ち帰りもできます。

夕方からはテイクアウトの営業になるので、豪華な晩ご飯のおかずにもなりますよ。

マスターは長年中華料理まんぱい(弘前市)で修行、女将さんも飲食店をいくつも経験し、二人で店を持つ夢を実



油淋鶏



週替わり定食牛肉のカキ油炒め

現したがんばりやの若夫婦です。応援する気持ちでお邪魔したのに、素敵なおもてなしと料理で、逆にこちらがたくさんの元気をもらえます。

ぜひぜひみなさんも行ってみてください。

(津軽医院 兵藤尚子)

7月 2023年7月 第56期第15回理事会報告

- >> 会長あいさつ
- >> 全日本民医連理事会報告関係
- >> 県連出向人事
- >> 決裁事項
 - 県連・地協・全日本関係
- >> 協議事項
 - 2022年度下期県連会計監査報告
 - 青森民医連70周年記念事業について
 - 2022年度決算往査報告
 - 新型コロナウイルス対応について
 - 各法人・事業所の対応状況について
- >> 県連医師委員会関連
- >> 各種委員会
 - 各種委員会報告・署名到達
 - 事務基礎研修について
 - 旧優生保護法学習会感想と職場管理者・補佐研修について
- >> 報告事項
 - 全日本民医連通達・声明、地協関係
 - 共闘関係
 - 県連関係
- >> 各法人・事業所報告